

## 石巻仮設住宅ボランティア



12月20日（土）石巻市向陽町にある震災仮設団地を訪問して、住民の方とクリスマス交流会をしてきました。今年度2回目の訪問です。

学校を朝バス1台で出発、石巻市に到着して、初めに津波の被害を受けて、震災遺構として保存することを検討されている門脇小学校を見学しました。全員でそばにある慰霊碑に黙とうを捧げました。

仮設向陽団地に着くと、山形からやってきた国境なき奉仕団の方々と合流し、炊き出しのいも煮づくりの手伝いや、クリスマス交流会の呼びかけなどを行いました。いも煮には、たくさんの方が列を作って食べてくれました。

クリスマス会には、30人くらいの住民の方が集まってくれました。生徒の司会で、6つの班に分かれて、ケーキ作りと実食、クイズ大会、プレゼントタイムと続きます。打ち解けたところで、サンタさんへの願い事や欲しい物などを紙に書きながらのトークタイムです。住民の方が書かれた「住む家が欲しい」との言葉には、胸がつまりました。あの日、着の身着のまま逃げてきたのだそうです。すごく明るく接してくれた方たちですが、3年9カ月経っても、住む家のめどが立たない様子には、考えさせられるものがありました。

今回参加した生徒40人のうち、33人は初めての参加でしたので、新鮮な気持ちでボランティア体験できたと思います。被災地のニーズは時が進むにつれて変化しているようですが、私たちができることを、これからも続けていきたいと思っています、

